

地域
活性化



富山県 JAみな穂

広がる女性農業経営者の活躍 組織化・スマート農業・JA参画で後押し

農業は男性のイメージが強いですが、女性の活躍も進んでいます。全国の女性農業者は56万人に上ります。また、2018年度の新規就農者5.8万人のうち、4分の1を女性が占めており、女性農業者が着々と誕生しています。さらに、女性が経営に関与する販売農家は全国の農業者の47%と半数近くを占めています。

全国のJAでは、行政と連携して、女性農業者への支援を通じて女性農業者のリーダーを育成するとともに、JA運営への参画を通じて、一層の地域活性化に貢献しています。

JAみな穂は、行政・JAを挙げた女性農業者の継続的な活動支援に取り組んでいます。管内の入善・朝日両町女性農業者による親睦の団体「真樹の会」から多くの女性経営者が誕生しています。

真樹の会から派生した6次化グループの一つに、規格外のサトイモを使用したコロッケの加工・販売を手掛ける、「ひやくしゅういっき」があります。JAは加工施設の提供や瞬間冷凍設備の導入を支援し、JA直売所のイベント等では年間2万5000個を売り上げています。メンバーである(株)Stay goldてらだファームの寺田晴美代表は、「JAは気軽に相談ができる存在」と話します。

(有)グリーン森下で専務を務める森下さゆりさんや若手女性農業者らが組織した、「おいしいやさい部」には、JAの営農指導員らが消費者目線の品目



JA職員に指導を受ける「おいしいやさい部」の皆さん

選定や販促手法などの研究を手助けしています。JAは、女性農業者の活躍に向けて、リモート水門やドローンのスマート農業により、一層の農作業の省力化・効率化を進めています。

JAみな穂の支援により、女性農業者グループが活性化し、活動や農業経営への意欲を喚起して新たな女性農業者のリーダーが育っています。現在はJA管内担い手経営体176組織

のうち、20組織で女性が代表・役員を務めるようになりました。さらに女性2人がJAの理事となり、JA運営に参画しています。JA担当者は「寺田さんと森下さんがけん引役となり、若手を盛り上げている」と分析します。JAみな穂は、女性農業者の活躍がさらに発展するよう、今後も女性農業者の声に耳を傾け、夢の実現を後押ししていきます。

JAグループは第28回JA全国大会で女性正組合員比率30%以上を目標とし、女性の農業・JA運営への参画を積極的に推進しています。複雑化する農業や地域の課題を解決するため、女性の参画は必要不可欠です。全国のJAでは、スマート農業や女性農業グループの活動支援などで女性農業者の活躍を後押しします。

JAの女性正組合員の割合

2013年度 19.3% → 2020年度 22.5%

JAの女性役員比率

2013年度 6.9% → 2020年度 9.1%

スマート農業の導入支援や活用に取り組むJAの割合

2019年度 27.5% → 2020年度 38.4%

JAが所有・農家へ導入支援するドローンの台数

2019年度 173台 → 2020年度 279台

